

ごきげんよう。あっという間に年の瀬を感じる時季となりました。国際交流部では、この1年にグローバル教育プログラムに参加してくれた生徒たちによる共立祭の展示発表に始まり、海外大学進学推薦制度説明会や春季海外研修の募集説明会など、様々なイベントに多くの生徒・保護者の皆さまに足を運んでいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。今後とも共立のグローバル教育活動の益々の発展にご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

この国際交流通信「Journey」は共立生の皆さんと保護者の皆様に本校の国際交流やグローバル教育についてよりよく知っていただくために発行しています。保護者の皆様も是非お子様と一緒にご覧ください。

😊 **A new program to start! ~ NZ 2-Term Program**



2026 年度より、新たな留学プログラムであるニュージーランド2ターム留学プログラムを開始します。ニュージーランドの学校はほとんどが4学期（ターム）制で、1月末から始まる第1タームと4月から始まる第2タームの約6ヶ月間、ホームステイをしながら現地校に通います。対象は高校1年生で、現中学3年生の学年からスタートします。

このターム留学プログラムでお世話になるのは、オークランドにあるタカプナグラマースクールという学校です。タカプナグラマースクールは、国際バカロレア (IB) ディプロマプログラムも提供する高い進学率を誇る学校で、日本では中学2年生から高校3年生にあたる学年の生徒たちが通う共学校です。留学生の対応をする国際部門の規模が大きく、日本人スタッフもいるので安心して通うことができます。また、部活動も盛んなため、勉学と部活動の両方を満喫できる留学生活になることは間違いありません。



- 【期間】 1月下旬から翌年7月までの約6ヶ月間 【定員】 1名
 【選考時期】 高校1年4月募集開始 5月末～6月初めに決定
 【基準】 成績面・生活面・健康面などを考慮し、学内選考を経て留学生を決定
 ・ 中学3年の学年末成績（評定平均値）が4.0以上かつ外国語（英語）の評定が4以上
 ・ 明朗快活で共立生の代表として誠実な振る舞いが出来る生徒
 【費用】 約¥2,500,000 程度（東京都私学財団の助成金制度あり）



これを機に、2026 年度よりショートターム留学を「1ターム留学」と名称変更します。

☺ **Canada Long-Term Program 2025**

～ **Let me tell you how things are going in Canada!** ①

公立女子中学高等学校はカナダ・ブリティッシュコロンビア州（バンクーバー地域）にあるメイプルリッジ・ピットメドウズ教育委員会よりパートナー校として認定されており、カナダでの約10ヶ月の留学プログラムに、学内選考を経て高校1年生1名を毎年派遣しています。



ロングターム留学プログラム6期生である 高校1年 の さんが 8 月末にカナダに出発して約3ヶ月が経ちました。坂田さんが通っているのは *West View Secondary School* というメイプルリッジ・ピットメドウズ教育委員会学区にあるハイスクールの一つです。高校生活も順調にスタートし、カナダライフを満喫しているようです。坂田さんはカナダでの生活を皆さんに分かりやすく紹介するため、毎月動画を作って送ってくれています。この動画は共立の公式Instagramにて配信中ですので、ぜひご覧ください。



学校の友人たちと

◆ メイプルリッジ／ピットメドウズ教育委員会

カナダの西海岸、バンクーバー国際空港より約1時間の場所に位置します。公立の小・中・高等学校を管轄する教育委員会で、質の高い教育プログラムを準備しています。国際バカロレアプログラムだけでなく、スポーツや芸術面でのコースも多数提供されています。また、14歳で飛び級してカナダ国内のトップ大学5校に合格し、カナダ政府にギフテッド〔天才児〕と認定された日本人少年の大川翔くんを輩出した学区でもあります。この学区は自然に恵まれた地域ですが、バンクーバー都市圏の一部を形成しており、大都市の便利さも持ち合わせた環境です。

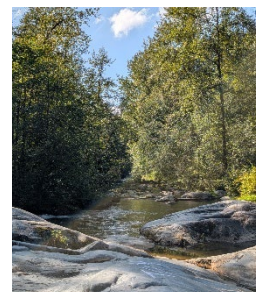


【以下原文のまま】※10月時点

早いものでカナダに来て2ヶ月経ちました。
朝は冷え込むようになり、長袖が手放せなくなりました。

School

学校は70分授業で1日4時間しか授業がないので終わるまでが早く感じます。8科目を1週間でローテーションしてます。私はELL（英語）、Math、Social Studies、Science、Photography、P.E.、Leadership、Foodを受けています。Math、SS、Science以外は他学年と合同なので学年の垣根を超えて友達が作れるので楽しいです。授業中にはお菓子をつまむことができ、割と自由な雰囲気できれいと授業を受けています。Leadershipは学校のイベントを企画し、校内に告知する生徒会のようなことをします。他にもロボティクス、心理学や犯罪学など到底日本の高校では学べない、自分の興味関心に沿った時間割ができるので面白いです。HRクラスというものがあるにはあるのですが、毎日顔合わせをするわけではないので、各授業で友達を作る必要があるので少し大変です。



Homestay

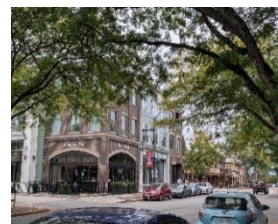
ホストマザー、ホストブラザー、もう1人の留学生、私、そしてホームステイ先にいる犬と4人1匹で暮らしています。クリスマスには娘さんたちが帰ってくるそうです。もう1人の留学生の子と仲を深めようと日々奮闘中です。土曜日にはショッピングに行ったり、自然に触れてリフレッシュしたりと遊びに行くことが多いです。日曜日には教会に行く家庭なので、何回かついて行かせてもらいました。同年代の子もたくさんいて、年関係なくいろんな人と話せるのでとても楽しいです。



What Surprised Me

とてもフレンドリーな方が多く、スーパーでお買い物をして、お会計する時店員さんと一言二言会話があったり、バスの運転手さんも仕事中に同僚に会ったらすれ違いざまに話すので日本じゃありえないなとすごく印象的に思いました。BC州ではThanksgiving dayに向けて専用の袋に食べ物を入れて玄関に置き、それをボランティアが回収し、集めた食べ物を専門の機関に送るそうです。私も袋回収のお手伝いをしたんですが、宝探しみたいで楽しかったです。私は中2の時共立

の夏季海外研修のプログラムに参加し、バンクーバーに行きました。その当時は街の中心よりも少し離れていたところに滞在していたのですが、ビルもたくさんありましたが、その中心から数時間離れたところで街の色もガラッと変わり、住宅街と自然がうまく調和していてカナダのいいところだなと感じました。



😊 NZ Short-Term Program 2025

◆ ニュージーランド ショートターム留学プログラム (約2ヶ月間)

ニュージーランドにある以下の4つの名門女子校にショートターム留学が可能です。ニュージーランドの学校はほとんどが4学期制で、1月末から始まる第1学期の2か月間お世話になります。

【派遣校】 St. Catherine's College (Wellington)
Sacred Heart College (Lower Hutt)
Wellington East Girls' College (Wellington)
New Plymouth Girls' High School (New Plymouth)

【期 間】 1月下旬から4月上旬までの約2ヶ月間

【定 員】 最大10名



注目! 今年度のニュージーランドターム留学生 10 名 (高校1年生) が決定!

〔3組〕 [redacted] さん・ [redacted] さん・ [redacted] さん

〔4組〕 [redacted] さん

〔5組〕 [redacted] さん

〔7組〕 [redacted] さん・ [redacted] さん・ [redacted] さん

〔8組〕 [redacted] さん・ [redacted] さん





お世話になる学校の紹介

St. Catherine's College

【カテゴリー】Integrated／女子校 【学年】Grade 9-13 【地域】ウェリントン 【学生数】約 200 名

セント・キャサリンス・カレッジはカソリックの女子校で、マーシー修道女によって設立されました。全生徒数は 200 名程度と小規模ですが、1 人 1 人へのケアが行き届いており、人種も様々で多様な文化背景を持った生徒たちと交流ができます。全生徒は祈り、修養会、ミサ、社会奉仕などを通して、宗教教育やカレッジの宗教生活に参加しています。留学生課には日本人スタッフが常駐しているため、何か問題があったときや相談したいときは心強い環境です。授業は主幹科目以外では音楽、アート、ドラマ、家庭科やデジタルテクノロジー、写真、デザイン、ツーリズムなどがあります。学校は空港から車で 10 分程度の便利な場所にあります。13 種類以上のスポーツ系クラブと、文化系ではコーラスやコンサートバンド、ギターアンサンブルなど音楽分野のクラブが充実しています。



Sacred Heart College (Lower Hutt)

【カテゴリー】Integrated／女子校 【学年】Grade 9-13 【地域】ローワー・ハット 【学生数】約 810 名

セイクレッド・ハート・カレッジ (ローワー・ハット) は、1912 年創立の歴史と伝統のあるカソリック女子校です。思いやりとキリスト教精神に基づいた環境の中で、生徒一人一人が自身の可能性を最大限に高め、学業向上を目指すことを奨励する学校です。2013 年に優れた音響や照明設備を備えた新しい舞台芸術センターをオープンし、優れた図書館やコンピューター施設を併設するなど充実した学習環境を整えています。ウェリントン中心部からは車で約 25 分のところにあるローワー・ハットという郊外の町の中に位置しています。学校から電車の駅までは徒歩 10 分、ウェリントンの街までも電車で 20 分で行くことができます。



Wellington East Girls College

【カテゴリー】公立／女子校 【学年】Grade 9-13 【地域】ウェリントン 【学生数】約 850 名

ウェリントン・イースト・ガールズ・カレッジは 1925 年に創立された公立の女子校です。空港や町中から近い便利な場所にあり、ウェリントンの町を一望できる丘の上にあります。アカデミックレベルも高く、音楽、芸術系の授業にも力をいれており様々な授業を提供しています。長期留学生は年間 30 名までと制限をつけ、きめ細やかで高い質のサポートを提供できるように心がけています。少人数制の ESOL 授業も充実していますが 50 種類以上のスポーツやクラブ活動があり、楽しく留学できるような機会を提供されています。学校周辺も治安の良い地域で、安心して留学生活を送ることができます。2019 年度に一部校舎を改築し、クラシックな感じとモダンな感じを融合させた校舎になりました。



New Plymouth Girls' High School

【カテゴリー】 公立／女子校 【学年】 Grade 9-13 【地域】 ニュープリマス 【学生数】 約 1,200 名

ニュープリマス・ガールズ・ハイスクールは 1885 年創立の歴史と伝統のある公立女子校です。11 ヘクタールもの広大な敷地に私立並みの最新鋭の設備を兼ね備えた学校です。アカデミックレベルも高く、2009 年には国の奨学金を授与した生徒を 31 名も輩出しています。授業では幅広い選択肢を提供し、スポーツ、文化、社会、学校での活動可能な幅広い参加を奨励することによって学校がそれぞれの若い女性の可能性をうまく引き出すように心がけています。この学校では留学生をたいへん歓迎しておりますが人数を年間 30 名までと制限して密なサポートが提供できるよう心がけています。学校内のすべての学生と同様に、様々な経験共有し、留学生も現地生徒も生徒それぞれが今後の人生の友人となるべくような機会を提供することを目指しています。



😊 Kyoritsu Festival 2025 ～ 国際交流部展示発表



今年も共立祭の時期がやってきました！国際交流部では毎年恒例の「本校のグローバル教育プログラムの紹介」として、生徒による各種研修報告の展示とポスターセッション、プレゼンテーションを行いました。在校生はもちろん、小学生や保護者の方、卒業生や先生方などたくさんの皆様に訪れていただき、常に教室は満員状態で大盛況に終わりました。

<展示内容> 国際交流の部屋：中学3年3組教室

- 【2024 年度】 ニュージーランド・ショートターム留学
カナダ・ロングターム留学
春季海外研修（シンガポール・オーストラリア・アメリカ・イギリス）
- 【2025 年度】 夏季海外研修（ニュージーランド・カナダ）
英字新聞プロジェクト

◆ 各種プログラムについて、模造紙による研修報告〔ポスター〕

◆ 掲示された研修報告の前でポスターセッション

ポスターセッションとは、会場にいらっしゃったお客様を前に、作成したポスターの内容についてプレゼンしたり、質疑応答をしたりします。大変「ライブ感」のある発表方法です(右写真)。

◆ 提出された海外研修レポートの展示

◆ プレゼンテーション（プレゼンルーム：中学3年4組教室）



<当日の様子>



☺ **Kyoritsu Times Project 2025**

the japan times



共立女子中学高等学校
KYORITSU GIRLS' JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



Kyoritsu Times Project は日本の英字新聞のトップブランド The Japan Times の協力のもと、生徒の皆さんの手による英字新聞作成プログラムです。毎年、中学3年生から高校2年生までの有志が取材、記事作成、レイアウトなど英字新聞の作成を一から学び、共立独自の英字新聞の発行をしています。新聞の作成を通して、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を向上させ、社会性や協調性を身につけることができます。今年度は中3から高2までの有志37名が参加し、**編集長（高校2年生）**を中心に編集会

議を経て取材を行い、制作に取り組んでいます。

11月7日(金)にThe Japan Timesの元編集局長で現在フリージャーナリストとして活躍している大門小百合氏にお越しいただき、「紙面レイアウトフィードバック研修」で講師を務めていただきました。今までプロジェクトのメンバーが編集や校正を重ねてきた記事の紙面レイアウトがThe Japan Timesから戻り、それを用いて元編集局長から直々にフィードバックを頂く大変貴重な研修でした。大門氏からの丁寧なアドバイスに生徒たちは皆熱心に耳を傾けていました。また、疑問点や改善点について積極的に大門氏に質問し、とても有意義な時間となりました。完成に向けてラストスパート、最終校正を経て12月に発行します。今年度のKyoritsu Timesも8面構成で、毎年内容をどんどん刷新しています。今年度も素晴らしい英字新聞をぜひご期待ください。



☺ Halloween Event @ Language Square



10月31日(金)のちょうど当日にハロウィーンイベントを行いました。参加者



たちはマイク先生と一緒に仮装用のマスクを一生懸命に作成し、それぞれの出来映えに大変満足している様子でした。最後は「トリック・オア・トリート」でお菓子をもらい、マスクをつけて記念写真をパチリ。楽しげな様子でランゲージスクエアを後にしました。



次のイベントは11月28日(金)のクリスマスです。お楽しみに！

☺ 海外大学進学推薦制度説明会

11月8日(土)に海外大学進学推薦制度説明会を開催しました。今年度は中1～高3の全学年対象に11月の面談期間前の進路意識の高まるタイミングに実施しました。

この海外大学進学推薦制度は2022年度より導入された制度です。近年、自己の将来の夢や目標の実現のため、あるいは専門分野や学問を深く追究するために、日本の大学と同様に「海外の大学」も進路選択の1つとして捉え、海外大学への進学を希望する生徒が増えてきました。そのような生徒のニーズに合わせ、指定校推薦のような形で海外大学やコミュニティーカレッジへの合格を保証するためにこの制度を導入しました。この制度では、イングリッシュシャワーや夏季海外研修、ショートターム(1ターム)留学プログラムでお世話になっている株式会社ISA(アイエスエイ)のご協力のもと、大学選択から進学・渡航までをサポートしていきます。



今回は実際にカウンセリングも行っているISAの 氏から制度全般の説明と、海外で学ぶことの意義や目指すに当たって今からできることなどのお話を頂いたあとに、実際にこの制度を利用してアメリカのウェブスター大学に進学し、現在3年生として学んでいる さん(2022年度卒)とGoogle Meetで繋いで、この制度を利用して良かったことやアメリカでの学生生活についてお話してもらいました。

◆海外大学進学推薦制度で求められる人物像

- ・希望する大学で学ぶ目的が明確であり、自分の将来の目標に向かって主体的に行動することができる
- ・どんな状況や環境でも、ポジティブかつオープンマインドな姿勢で行動することができる
- ・文化的多様性のある大学のキャンパスづくりに貢献することができる
- ・授業に積極的に参加するなど、勉学に真剣に取り組み、良い成績で卒業する強い意思を持っている
- ・社会に貢献しようという志を持っている
- ・海外大学への入学手続き、渡航の準備、進学後に発生する手続きを自ら進めていく強い意思がある

◆3つの進学方法

Go Campus 進学（奨学金保証進学）

北米大学奨学金進学プログラム（Go Campus Academic Program）で返済不要の奨学金を獲得し、北米の大学へダイレクトに進学できる。費用面において日本の大学と大きく変わらない。

2 + 2 進学（コミカレ進学）

世界トップクラスの大学への編入実績が豊富なアメリカのコミュニティーカレッジ（コミカレ）への進学を目指す。比較的入学基準が穏やかなコミカレなので、出願の負担感が軽減される。

パスウェイ進学（合格保証進学）

世界の大学ランキング 500 位以内の大学を多数含む対象校にパスウェイやファウンデーション経由で進学し、4 年間の海外大学卒業を目指す。

この制度は「指定校推薦」とほぼ同様の扱いとなるので、成績（評定平均値）や生活態度等を考慮して推薦者を決定します。審査を通過後、進学先が決定されます。詳しくは国際交流部まで！

<過去の合格実績> Taylor's University（マレーシア） Webster University（アメリカ）
Sussex University（イギリス）



〔以下原文のまま〕

みなさんごきげんよう。私は現在、アメリカ・ミズーリ州にある Webster University に通っています。専攻は映画制作、副専攻は写真を勉強しています。本日は、海外大学に興味を持つみなさんに少しでも参考になるよう、私の進学までの経緯と大学生活についてお話しさせていただきます。

遡って高校3年生の夏、私は「映画を学びたい」「英語の勉強も本格的にしたい」という軸で大学進路を考えていましたが、映画を学べる+留学制度が充実している日本の大学の中で、なかなか納得できる選択肢が見つかりませんでした。そんな時、共立で行われた ISA の海外大学進学制度の説明会に参加しました。当時の私は海外経験もなく、英語が流暢に話せるタイプでもありませんでしたが、アメリカは映画の先進国であり、公用語が英語であることから、「アメリカの大学なら、自分の学びたい環境が手に入れられるかもしれない」と感じ、北米の大学進学を目指すようになりました。

ISA のプログラムの中でも、私が選んだ「Go Campus」は給付型奨学金を受けられ、日本の私立大学と大きく変わらない費用でアメリカの4年制大学に通える点が最大の魅力でした。アメリカ留学には、2年制コミュニティーカレッジを経由して4年制大学に編入する道と、最初から4年制大学に入学する道があります。私は、同じ環境で4年間じっくり学び続けたいこと、4年制大学のほうが大学管轄の寮制度が整っている点から4年制大学への直接進学を選びました。



最も大変だったのは、入学前の書類準備です。Go Campus では英語スコアの提出が必須で、私は TOEFL iBT を何度かオンライン受験したものの、監視の厳しさから不正行為と誤判定され、スコアが発行されないトラブルが続きました。これから TOEFL を受ける人は、オンラインより会場受験を強くおすすめします。オンラインは自室で受けるため遠隔監視となり、瞬きが多いただでも不正と判断されることがありました。最終的に私は TOEFL ではなく Duolingo English Test を利用し、基準スコアを取得して無事に大学へ出願できましたが、もっと早くからいろんなテストを視野に英語を勉強するべきだった、と考えています。どんな準備も、早めに動くことが本当に大切です。

8月入学ができないとわかった私はかなり落ち込んで両親ともともに会話できずにいたのですが、そんな中井内さんは「対面で話したい」と言ってくださって、新宿の ISA オフィスで私のメンタルケアをしてくださりました。普段はメールでのやり取りのみだったので直接お会いできたのはそれが初めてだったのですが、井内さんと話していく中で、私の「留学をしたい理由」だとか「この大学に行きたい理由」など、留学が楽しみでしかたなかった頃の気持ちを思い出すことができました。それがターニングポイントとなり、英語の勉強にも集中することができ無事大学合格を掴み取ることができました。本当に ISA の手厚いサポートにはとてもお世話になりました。ありがとうございました。



留学生活を通して変わったことは数えきれませんが、一番大きいのは「他人と比べなくなった」ことです。アメリカは多様性を尊重する文化が強く、年齢も背景も全く違う学生が同じ教室で学んでいます。娘がいるお父さん学生、軍隊経験のある学生、パーティドレスのような服で登校する子、ピカチュウの着ぐるみで授業を受ける子までいます。私は日本で窮屈さを感じたことはありませんでしたが、アメリカに来て「自分でいい」という自由度をかなり強く感じるようになりました。重視されるのは容姿ではなく「自分にどれだけ自信を持てるか」で、必要以上に他人を気にすることが減りました。他人を気にする暇があったら自分自身を磨こうと考えるようになったんです。

最後に、海外大学を目指すみなさんへ。

みなさんが感じるのは、きっと「不安」だと思います。知らない場所の大学、理解でも、その不安だけで、自分のやりたいことを手放さないでほしいです。

私は 19 歳で一人アメリカに渡りました。当時の私は、「この留学がもし失敗しても、まだ 20 歳にもなっていないし、いくらでも取り返せる！」そんな気持ちで飛び込みました。挑戦は何歳からでもできますが、年齢を重ねるほどリスクは大きくなります。だからこそ、若いうちにたくさん失敗したり、恥ずかしい思いをしたりすることが、後の人生で必ず力になります。

大学生活の 4 年間は自由であり、そして学生として過ごせる“最後の 4 年間”です。どう使うかはあなた次第。私は、入学前の自分より圧倒的に成長した姿で卒業したかったので、あえてハイリスクの道を選びました。遊んでも、勉強に打ち込んでも、自分本当にやりたいことなら何でもいいと思います。どうか、後悔しない 4 年間にしてください。

留学が成功しても、うまくいかなくても、「知らない場所でひとり暮らす」という経験には大きな意味があります。一歩踏み出すかどうか、その違いだけで未来が変わります。そして、不安という一時的な感情だけでその一歩をやめてしまうのは、本当にもったいないことです。

海外大学でなくても構いません。与えられた 4 年間で、自分が心から誇れる時間にしてほしいと思います。もし私が力になれることがあれば、いつでも言ってください。

共立の先輩として、心から応援しています。

😊 An international student to come to Kyoritsu!



なんと来年の1月から共立にNZから留学生がやって来ます！

彼女の名前は [redacted] さんで、2024年度のショートターム留学生がお世話になったホストシスターです。日本に大変興味があり、通信教育で日本語を学習しています。今回実際に日本で学びたいということで、2月下旬までの約2ヶ月間、共立生として皆さんと一緒に学ぶことになりました。

ホームルームは高校1年3組に所属しますが、他学年の授業に参加したり、様々な部活動にも参加したりする予定なので、校内でMiaさんを見かけた際にはぜひ友好的に話しかけてみてください。もちろんMiaさんは日本語を学びに来ているので、日本語でOK！せっかくなのでニュージーランドのことを聞いてみたり、英語でも話しかけたりしてみましょう。

今後Miaさんから共立生へメッセージが届きます。そのときはまたご紹介するので楽しみに。

おらせ Information

□ 12月6日(土) カナダ・ロングターム留学プログラム説明会(中3希望者対象)

中学3年生希望者を対象に、2026年度の「ロングターム留学プログラム説明会」を開催します。今回は7期生の募集になります。現地エージェントであるグローバルクリエイティブカナダの代表の方からの説明と5期生の [redacted] さんをゲストに招いて、カナダの現地の状況や留学に対する心構えや、留学体験などを話していただく予定です。詳しくは中3生徒に配付したお知らせをご確認ください。

※参加申し込みは11月29日(土)まで

※この説明会に参加しない場合は、応募することができません。

【募集定員】1名

【選考】成績面・生活面・健康面などを考慮し、学内選考を経て留学生を決定

【留学形態】進級留学と休学留学の2種類

□ 12月13日(土) ニュージーランド・ショートターム留学プログラム渡航前説明会

□ 12月23日(火) ニュージーランド・ショートターム留学プログラム ゆかた講習会

□ Winter English Shower

12月25日(木)～27日(土)の3日間 ※参加申し込みは終了しています

□ 1月22日(木) 春季シンガポール・アメリカ研修 ホームステイ・安全管理オリエンテーション

□ 1月29日(木) 春季オーストラリア・イギリス研修 ホームステイ・安全管理オリエンテーション

□ 3月7日(土) 春季海外研修全コース渡航前最終説明会



海外研修に関するアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
集計結果は次号でご紹介します。